

道路

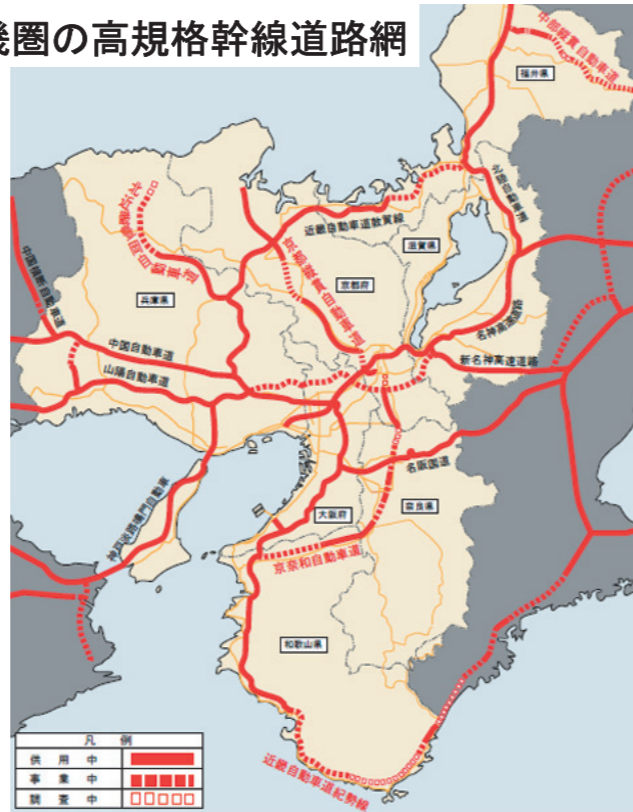
道路ネットワークの整備

近畿圏の産業・観光等を支え維持する基幹ネットワークとして、高規格幹線道路網の整備を行っています。これまでに総延長約1,600kmのうち約1,200kmが整備済みであり、引き続き中部縦貫自動車道や北近畿豊岡自動車道、京都縦貫自動車道、京奈和自動車道のほか、近畿自動車道紀勢線などの整備を推進します。



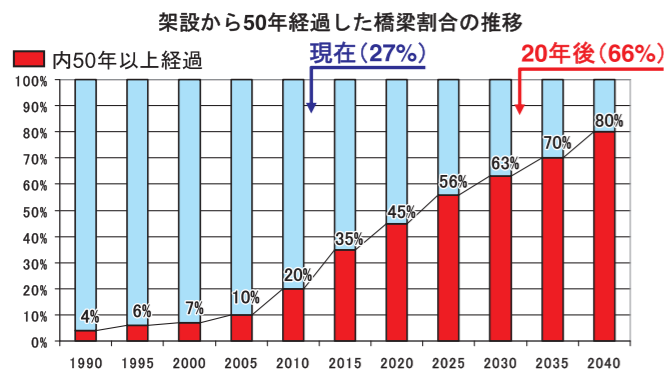
工事が進む京都第二外環状道路（京都府長岡京市）

近畿圏の高規格幹線道路網



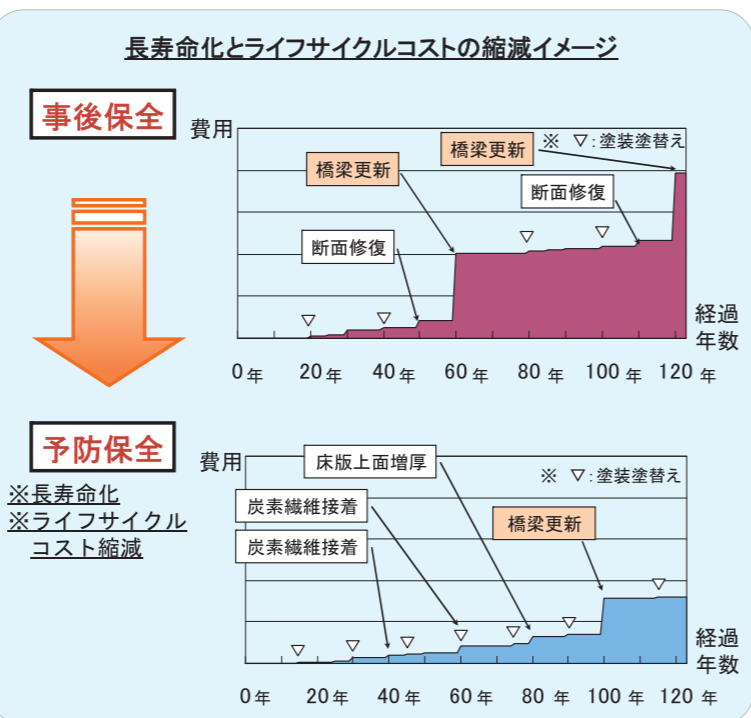
道路橋の保全に向けた取り組み

近畿地方整備局管内において建設後50年を超える橋梁数の全管理橋梁数に占める割合は、現在の27%から20年後には約66%まで急激に増加します。これら橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストを軽減するため、これまで「事後保全型」の維持管理から「予防保全型」の維持管理への転換を進めています。また、市町村道路等を管理する地方自治体に対しても、研修や講習会及び市町村管理橋梁の点検・診断の支援など様々な技術支援の取り組みを実施しています。



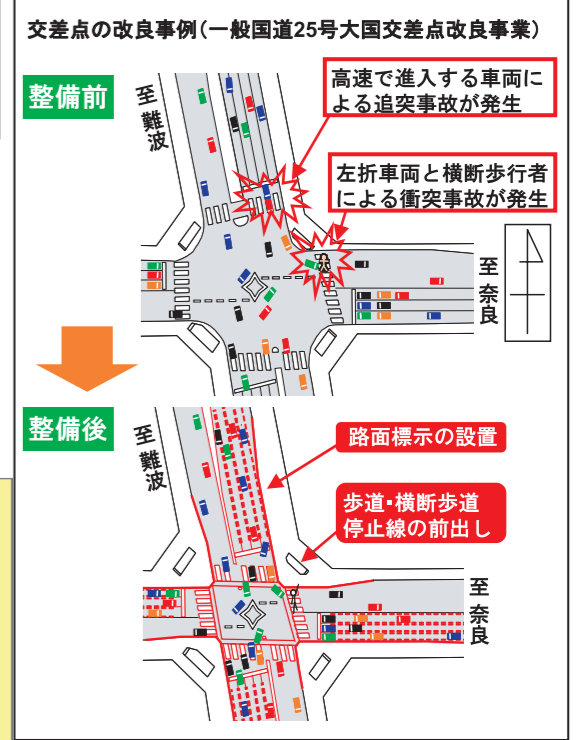
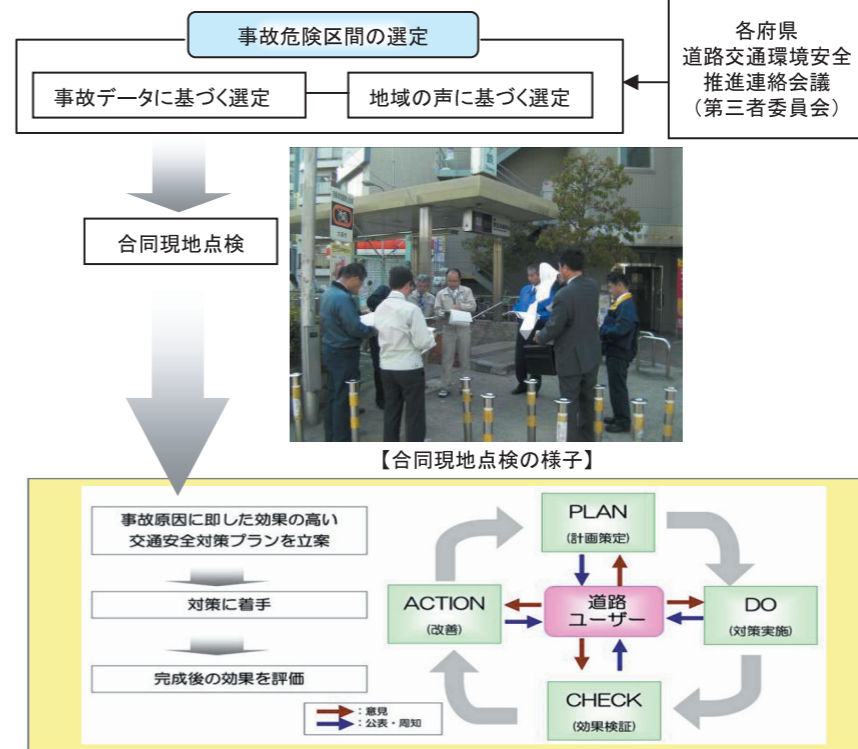
主桁のひび割れ（一般国道42号 古座大橋）

長寿命化修繕計画の効果



事故ゼロプランの取り組み

交通事故対策事業の透明性・効率性を高めるため、「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」の取り組みを進めています。「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」は、事故が多発する幹線道路を対象に、過去の事故データや地域の声に基づいた事故の危険性の高い区間を選定し、重点的に対策を進めていくものです。引き続き、これらの区間に対し、事故要因を明らかにした上で、PLAN→DO→CHECK→ACTIONの流れに沿って対策を進めていきます。



ITSスポットサービスの取り組み

全国の高速度道路上に設置された「ITSスポット」と、自動車に搭載された「ITSスポット対応カーナビ」との高速で大容量の通信により、リアルタイムで多彩な道路交通情報等を提供する新しいサービスです。3つの基本サービス（ダイナミックルートサービス、安全運転支援、ETC）を提供することができます。

ダイナミックルートガイダンス

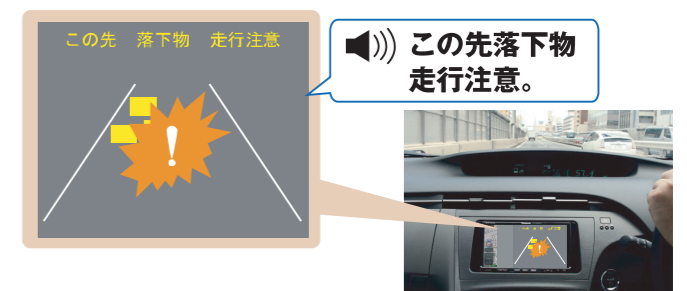
■広域な渋滞データを配信。カーナビが賢くルート選択



四国方面へのダイナミックルートサービスガイダンスのイメージ

安全運転支援

■危険な路上障害を、1km手前でドライバーに注意喚起！



落下物の1km手前での表示イメージ

ETC

■ITSスポット対応カーナビでは、ETCの機能も一体化。

